

学校教育目標
やさしく かしく たたくく「心」と「学び」と「体」を鍛える～
研究主題
「自ら学ぶ力のある児童の育成」 ～児童が主体的・対話的に深い学びに向かうICTを活用した学習過程・指導方法の研究～

学校経営理念
私たちの村はかつて林業により日本の近代化を支えた歴史があり、その先人の誇りを胸に官民一体となり持続可能な自治体のあり方を懸命に模索し、激しい競争の中、絶えず新たなものを創造しながら、価値を生み出す努力を続けています。しかし、「元氣村」で知られる本村も先の調査で四国一の人口減少率を示し、厳しい状況に直面しています。本校には新たなイノベーションを生み出し、村の未来を託す人材育成という大きな期待と使命があります。そして地理的・人的情報がのび、教育の格差に繋がる事がない取り組みが、教職員にはその覚悟と実践力が求められます。小中一貫校の強みを最大限に活かし、村を離れる15才時の理想像を共有し、義務教育の担い手であるという共通認識と、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」について、9年間わたる一貫した協働的な取り組みを進め、新しい未来と時代を切り拓く児童生徒の育成を旨とす。

学校経営方針
<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりの児童が個性を發揮し主体的に活動できる学校づくりに努める。 ○一人ひとりの教師が専門性を發揮し、組織として機能する学校づくりに努める。 ○保護者・地域との信頼関係を深め、ともに歩む学校づくりに努める。 ○自己研鑽に努め、指導力の向上を目指し、児童の心をしっかりと受け止めることのできる学校づくりに努める。 ○学校目標の実現や課題の解決を図るチーム馬路の構築に努める。 ○互いに教え教えられ、望ましい15才の姿を共有する小中連携教育の推進に努める。

中期計画<令和2年度～令和4年度>

	現状<○強みと●弱み>	目標<3年後の到達目標>	行動指針<3年間の取組方針>	評価	検証・評価<3年間の総括>
知	<ul style="list-style-type: none"> ○5教科については単式で授業しているため、児童を取り取りやすく、授業の流れが把握しやすい。 ○一人ひとりに活躍する場を設けることができる。 ○各種アンケート結果の肯定的評価が高い。 「授業中はすすんで勉強している」88% 「家庭学習は意欲をもって取り組んでいる」87% ●R元年度高知県学力定着状況調査 4年(国語-9.8 算数-11.9) 5年(国語-12.1 算数+9.9 理科+6.1) ●少人数のため、友だちからの学びが少なく、主体的・対話的に深い学びに繋がりにくい。 ●生活経験が少なく、創造性に欠ける場面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業ベーシックに基づき、教科横断的に板書を統一し、主体的・対話的に深い学びに繋がる研修を推進する。 ・日常的な「主体的対話的に深い学び」の授業実践 ・全国学力学習状況調査において、全国正答比で5P以上。 ・高知県学力定着状況調査において、県平均より5P以上。 ・児童の授業評価アンケートにおいて、授業に関する項目で肯定的評価90%以上 ・学校評価アンケート、「学力」に関する項目をA評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年、教科、小中を超えた授業スタイルの共通化 ・児童の学習状況を把握し、伸ばしたい力を明確にして指導にあたる。 ・学習意欲を高め、一人ひとりが分かる喜びや学ぶ喜びを実感できる授業を創造する。 ・学びに向かう姿勢を育み、高めるための学習指導を充実させる。 ・言語活動の充実と表現力豊かな生徒を育成する。 ・計画的、継続的な校内研や授業研究を行う。 		
徳	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳アンケートの「道徳の時間」の項目で肯定的に答えている児童が91%である。 ○自尊感情の項目では、82%が肯定的に答えている。 ●Q-Uアンケートでは、学級生活満足度の児童が19.4%である。 ○道徳参観日の保護者の参加率は、92%である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな心を育てる教育の充実 ・道徳意識調査で生徒の肯定的評価の割合が90%以上。 ・Q-Uアンケート「学校生活満足度」の割合90%以上。 ・学校評価「豊かな心」に関する項目をA評価にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的な活動により、人や自然、ものとの関わりを通して道徳的実践力を育成する。 ・異年齢による関わりを重視した指導を工夫し、共感的な心を育成する。 ・全教育活動を通して「人権尊重の心や態度」を育成する。 		
体	<ul style="list-style-type: none"> ●体力テストで全校の総合評価分布は、A、Bが31%、Cが47%、D、Eが21%であり、昨年より大幅にA・B評価が増えている。 ○前年度4学年(現在5学年)は、A・B評価は28%、C評価が72%である。 ○前年度4学年(現在5学年)は上体起こしの得点が平均9ポイント高い。 ●前年度4学年(現在5学年)は「走」に関する項目の得点が平均4ポイントであり、ほかの学年より弱さが目立つ。 ○「自己目標を達成できた」の項目での肯定的評価の割合がマット95%、水泳80%だった。 ●生活習慣に関するアンケートで、生活習慣の意識を向上していくための項目が約77%と目標値より3%低い。 ○朝食摂取率は100%であった。 ●バランスのとれた朝食の主食・主菜・副菜の組み合わせが68.1%と目標値の80%以上に届かなかった。昨年が75.6%であり、昨年と比較すると数値が下がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健やかな身体 ・体力測定における個人総合評価で、全員がB以上。 ・生活習慣に関するアンケートで、意識の向上や改善に取り組む割合が80%以上。 ・学校評価で「健やかな身体」に関する項目をA評価 ・朝食摂取率100%、主食+主菜+副菜 80%以上。 馬路式お弁当の日への意欲的な取組100%継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活のマナーやルールを身につけ、家庭と連携して基本的な生活習慣を定着させる。 ・食生活について生徒の実態を把握し、給食指導等を通して、実践に結びつけた指導を行う。 ・体育の授業の充実と計画的な体力づくりを通して、体力・運動能力を向上させる。 		
横断	<ul style="list-style-type: none"> ○小中合同行事や乗り入れ授業により、小中教職員が15歳卒業時の望ましい姿、9年間を通し身に付けさせたい力について、中学校の専門性と小学校のきめ細かさ両方で考える事ができる ○小中合同職員会や合同研修会など、義務教育の担い手であるという共通意識を持ち、9年間にわたる子どもたちを見守って行くシステムがある。 ○不登校・問題行動は数年来0であり、保護者、地域からの学校への信頼も高く、連携・協働の環境が整っている。 ○生徒が部活動(野球部・卓球部)に参加し、保護者の理解も深く協力的である。 ●外部人材を積極的に活用した防災・安全教育への取り組みが不十分。 ●全教員の時間外労働が月45時間を超えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小中連携教育の推進 ・中学校による乗り入れ授業の充実による小中連携。児童アンケート肯定的評価100% ・小中合同職員会、合同研修会、二部会の充実。教員アンケート肯定的評価100% ・小中が連携した不登校・問題行動への取り組み。不登校・問題行動0継続。 ○保護者、地域との連携・協働の推進。保護者アンケート肯定的評価100% ○外部人材を積極的に活用した防災・安全教育への取り組み。新たな外部人材の活用。 ○教員の時間外労働月45時間以内の割合を7割。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小中連携教育の推進 ・新たに小中管理職企画委員会(2回/週)を設け、乗り入れ授業、合同行事、合同研修会、合同支援委員会、特別支援等について小中の連携を図り、OJTの効果を高めた。アンケートにより確認。 ○外部人材を積極的に活用した防災・安全教育への取り組み。新たな外部人材、新しいカリキュラムを取り入れる(防災訓練における避難所体験等) ○教員の時間外労働 校務支援システムにより勤務の実態を可視化し、業務の精選を行う。 		

短期計画【知】

項目	目標達成に向けた取組		中間検証 <4～8月の取組を検証>	評価 <到達目標の達成状況を検証>	
	目標<単年度の到達目標>	◆取組の評価指標			
1年目 【令和2年度】	<ul style="list-style-type: none"> ○授業ベーシックに基づき、教科横断的に板書を統一し、主体的・対話的に深い学びに繋がる研修を推進する。 ・日常的な「主体的対話的に深い学び」の授業実践 ・高知県学力定着状況調査において、県平均を上回る。 ・児童の授業評価アンケート、授業に関する項目で肯定的評価85%以上 ・学校評価アンケート、「学力」に関する項目をA評価 	<ul style="list-style-type: none"> ◆具体的取組 ・西留先生を招聘し(4回)、全校研や校内研修の中で、授業形態について確認し、改善を図る。 ・ベーシックに基づき教科横断的に板書を統一し、アクティブラーニングの研修を進める。 ・高知の授業づくり講座を受講し、指導力を高める。 ・学習の手引きを作成し、児童が主体的に活動できるようにする。 ・ホワイトボードの活用、意見交換、ホスターセッション等を活用し、全教科において、探求的な授業に取り組み「言語活動」を充実させる。 ・基礎学力の定着のため、ゆずっこタイム・家庭学習・自主学習の指導・加力指導を継続して行う。 ◆情報教育の推進 ・各学習場面に効果的なICT活用方法等についての校内研修を実施する。 ・デジタル教材等ICT機器を活用した授業づくりを推進する。 ・講師を招きプログラミング教育研修会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆取組の評価指標 ・小中合同研3回と小学校の全校研を3回実施する。 ・授業作り講座一人1回以上の受講 ・高知県学力定着状況調査において、県平均に近づく。 ・児童の授業評価アンケートにおいて肯定的評価80% 「友だちと考えを話し合ったり、よりよい考えを見つけたことができた」 「学習のまとめやふりかえりを自分の言葉で表現することができた」 ・単元テストで85%正答率 ・「学習ソフトウェアなどを活用して、児童の理解・習熟に応じた課題などに取り組ませる」ことができる 60% ・授業アンケート「具体的な資料やものを使って分かりやすく教えてくれた」肯定的評価70% ・全学年でプログラミングの授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同研1回と小学校の全校研1回を計画通り実施できた。(西留先生の来校が中止24回になり代替研修を実施。) ・授業作り講座については、計画をしていたがコロナの関係で実施できなかった。 ・児童の授業評価アンケート「友だちと考えを話し合ったり、よりよい考えを見つけたことができた」の項目において肯定的評価97% 「学習のまとめやふりかえりを自分の言葉で表現することができた」肯定的評価80% ・単元テストの正答率 92.8% 習熟できていない内容については定着を図った。 「学習ソフトウェアなどを活用して、児童の理解・習熟に応じた課題などに取り組ませる」肯定的評価80%だが、内容が薄いため講師を招聘して活用度高める研修を行い、実践に繋げている。 	
2年目 【令和3年度】	<ul style="list-style-type: none"> ○授業ベーシックに基づき、教科横断的に板書を統一し、主体的・対話的に深い学びに繋がる研修を推進する。 ・日常的な「主体的対話的に深い学び」の授業実践 ・全国学力学習状況調査において、全国平均を上回る。 ・高知の授業づくり講座において、全国平均を上回る。 ・児童の授業評価アンケートにおいて、授業に関する項目で肯定的評価90%以上 ・学校評価アンケート、「学力」に関する項目をA評価 	<ul style="list-style-type: none"> ◆具体的取組 ・西留先生を4回招聘し、全校研や校内研修の中で、授業形態について再確認し、一層の改善を図る。 ・ベーシックに基づき教科横断的に板書を統一し、アクティブラーニングの研修を継続して行う。 ・高知の授業づくり講座を受講し、指導力を高める。 「教科リーダーの手引き」を見直し、児童が主体的に活動できるように改善を図る。 ・ホワイトボードの活用、意見交換、ホスターセッション等を活用し、全教科において、探求的な授業に取り組み「言語活動」を充実させる。 ・基礎学力の定着のため、ゆずっこタイム・家庭学習・自主学習の指導・加力指導を継続して行う。 ◆情報教育の推進 ・各学習場面に効果的なICT活用方法等についての校内研修を実施する。 ・デジタル教材等ICT機器を活用した授業づくりを推進する。 ・講師を招聘し、プログラミング教育研修会を行うことで、効果的にICT等を授業で活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆取組の評価指標 ・小中合同研2回と小学校の全校研を3回実施する。 ・授業作り講座一人1回以上の受講 ・全国学力学習状況調査において、全国平均を上回る。 ・高知の授業づくり講座において、全国平均を上回る。 ・児童の授業評価アンケートにおいて肯定的評価95% 「友だちと考えを話し合ったり、よりよい考えを見つけたことができた」 「学習のまとめやふりかえりを自分の言葉で表現することができた」 ・単元テストで93%正答率 ・学期に2回職員研修をもち、タブレットの活用状況を共有し、活用度を高める。 「学習ソフトウェアなどを活用して、児童の理解・習熟に応じた課題などに取り組ませる」ことができる 80% ・授業アンケート「具体的な資料やもの、ICT等を使って分かりやすく教えてくれた」肯定的評価95% ・全学年でプログラミングを活用した授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り合同研及び授業研各1回実施。授業づくり講座も計画通り参加している。 ・全国学力学習状況調査において、全国平均を上回る。 ・高知の授業づくり講座において、全国平均を上回る。 ・児童の授業評価アンケート「友だちと考えを話し合ったり、よりよい考えを見つけたことができた」98% 「学習のまとめやふりかえりを自分の言葉で表現することができた」92% ・単元テストで93%の正答率 ・学期に2回職員研修をもち、「G suite」の活用状況を共有した。 「具体的な資料やもの、ICT等を使って分かりやすく教えてくれた」肯定的評価88% 	
3年目 【令和4年度】	<ul style="list-style-type: none"> ○授業ベーシックに基づき、教科横断的に板書を統一し、主体的・対話的に深い学びに繋がる研修を推進する。 ・日常的な「主体的対話的に深い学び」の授業実践 ・全国学力学習状況調査において、全国正答比を上回る。 ・高知の授業づくり講座において、県平均を上回る。 ・児童の授業評価アンケートにおいて、授業に関する項目で肯定的評価90%以上 ・学校評価アンケート、「学力」に関する項目をA評価 	<ul style="list-style-type: none"> ◆具体的取組 ・指導案検討及び授業研に東部教育事務所の指導主事を招聘し、授業改善を図る。 ・ベーシックガイドブックに基づき、児童が主体的・対話的に活動できる授業づくりを目指す。 ・高知の授業づくり講座を受講し、指導力を高める。 ・ホワイトボードの活用、意見交換、ホスターセッション等を活用し、全教科において、探求的な授業に取り組み「言語活動」を充実させる。 ・基礎学力の定着のため、ゆずっこタイム・家庭学習・自主学習の指導・加力指導を継続して行う。 ◆情報教育の推進 ・各学習場面に効果的なICT活用方法等についての校内研修を実施する。 ・デジタル教材等ICT機器を活用した授業づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆取組の評価指標 ・小中合同研2回と小学校の全校研を3回実施する。 ・授業作り講座一人1回以上の受講 ・全国学力学習状況調査において、全国平均を上回る。 ・高知の授業づくり講座において、全国平均を上回る。 ・児童の授業評価アンケートにおいて肯定的評価95% 「友だちと考えを話し合ったり、よりよい考えを見つけたことができた」 「学習のまとめやふりかえりを自分の言葉で表現することができた」 ・単元テストで93%正答率 ・学期に2回職員研修をもち、タブレットの活用状況を共有し、活用度を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで西留先生は招聘できなかったが、合同研修は実施し、教科リーダーの活用について協議し共有できた。また、授業づくり講座は全員参加できた。 ・全国学力学習状況調査は4年+21.4算30.5国+4.4.5算+4.5理+0.2とすべて目標値を上回った。 児童数が少なく、学力格差が平均値に大きく影響しているが、研修や教科リーダーの育成により、授業改善は進んでいる。また、調査結果を受け、個別の指導も実施し、学力の向上に努めている。 「友だちと考えを話し合ったり、よりよい考えを見つけたことができた」91% 「学習のまとめやふりかえりを自分の言葉で表現することができた」94% ・単元テストで93%の正答率 ・学期に2回、タブレットの活用状況を共有した。 「具体的な資料やもの、ICT等を使って分かりやすく教えてくれた」は97%で、活用できた。 ・メッシュの校内研修を行い、6年理科で活用することができた。 ・研修により、教員の授業力や児童への指導力が上がっているので、研修を継続していく。 	

4 年 度	<Ⅲ-1(2)> 【情報教育担当】	・講師を招聘し、プログラミング教育研修を行うことで、効果的にICT等を授業で活用する。	・学習ソフトウェアなどを活用して、児童の理解・習熟に応じた課題などに取り組ませる。 ・授業アンケート「具体的な資料やもの、ICT等を使って分かりやすく教えてくれた」肯定的評価95% ・全学年でプログラミングを活用した授業を実施し、職員で共有する。		
-------------	----------------------	---	---	--	--

短期計画【徳】

Table with 5 columns: Year (1-3 years), Target, Project, Action Plan, Evaluation. Focuses on moral education and character development.

短期計画【体】

Table with 5 columns: Year (1-3 years), Target, Project, Action Plan, Evaluation. Focuses on physical education and health.

短期計画【横断】

Table with 5 columns: Year (1-3 years), Target, Project, Action Plan, Evaluation. Focuses on cross-cutting initiatives and disaster preparedness.

4 年 度	〇教員の時間外勤務月45時間以内の割合を7割。	③防災・女生教育 ・外部機関と連携した新規事業の実施(消防、警察、自衛隊) ④働き方改革 ・校務支援システムによる勤務時間の管理を行い、長時間勤務の実態を可視化し定期的な部会を開催する。				
-------------	-------------------------	--	--	--	--	--